

北海道 「水土里ネット由仁」～地域協働プランナー～

北海道夕張郡由仁町

役員：11人、職員10人、組合員356人、受益面積：3,606ha

1. 地域の概要

由仁町の開拓は明治19年、国有未開地の貸付を受けて先駆者が入植し、夕張川沿岸の農場を経営したのが始まりである。その後も入植者が増え、畑作中心に開拓が進んだが、悪条件の中で畑作経営は困難を極めた。

35年に北海道土功組合法が公布されると、増田熱の見るにいたり「由仁村かんがい溝創設期成会」が結成されるとともに、同年5月に北海道としては3番目となる「由仁土功組合」が誕生した。37年には北海道で初となる補助事業による貯水池建設で「古山貯水池」が着工。急ピッチでの工事が進められ、わずか2年の歳月で竣工し、待望久しかった水稻作付に必要な水が確保された。これらの水利施設等は現在も由仁土地改良区が維持管理を行い、地域の財産として引き継いでいる。

2. 取り組みの背景、きっかけ

高齢化、後継者不足等の進行により、非農業者にも理解を促し地域一体となった農地や水利施設の維持・保全に向けて、PRと多様な組織との連携のもとで新たな土地改良区へ一歩を踏み出す必要があった。国営事業を契機としたワークショップや農地・水・環境保全向上対策を通じて、水土里ネットの役割について非農業者の意識が向上し、施設管理の必要性や安全管理について意識を持つようになった。

3. 運動の基本理念等

「地域の財産、『水』『土』『里』を良好な状態で次世代へ継承する」を基本理念に、内部運動で「自己確認・自己変革の取り組み」、外部運動で「道民・国民への理解の醸成」に取り組み、地域が期待する農業・農村の多面的機能の発揮を支える組織の発展、地域との多様な連携のもとに農地・農業用水等の地域資源の維持保全を積極的に担っていきける組織の発展を目指す。

「水土里ネット由仁」の創造運動の基本理念 地域の財産、『水』『土』『里』を良好な状態で次世代へ継承する

(内部運動)

～自己確認・自己変革の取組～

- 水土里ネット自身が、「水」「土」「里」を守り 育む組織としての役割を再認識
- 地域の要請に対応し、水土里ネットに期待される新たな役割・機能を担うための共通認識の醸成

(外部運動)

～道民・国民への理解の醸成～

- 農業・農村の多面的機能や農地・農業用水等の地域資源保全の重要性について、地域住民等の理解を醸成
- 水土里ネットの果たしてきた役割、これから果たしていく新たな役割・機能について、地域住民等の理解を醸成

新たな水土里ネットの創造

- 地域が期待する農業・農村の多面的機能の発揮を支える組織として発展
- 地域との多様な連携のもとに農地・農業用水等の地域資源の維持保全を積極的に担っていきける組織として発展

4. 運動の概要（主なもの）

①内部運動

- 役員・組合員への運動展開の理解促進(H14)
- 農地・水・環境保全向上対策と連携した運動展開の検討（H19）他

②外部運動

- 自治会等と連携した植栽活動、花壇づくりの実施(H16)
- 地域住民等とのワークショップの実施（H16）
- .小学校総合学習「たらい稲づくり」の企画・実施、出前授業（H16）
- .小学校社会科見学「農業水利施設見学」の企画・実施（H14）
- ため池環境整備による憩いの場の提供(H16) 他

5. 運動の成果

- ・地域住民と連携した農業水利施設の管理や地域ぐるみの活動が、創造運動を通じて構築され、農業者のみならず非農業者にも農地・農業用水、農業水利施設等を地域の財産として保全する重要性に理解が深まってきている。
- ・当地域では平成16年に国営農地再編整備事業を着工。事業の実施に向けて1,100haにおよぶ受益者の理解を得るため、町と連携しながら水土里ネットの役職員が中心となって幾度も地区説明会を開催し、着工にこぎ着けた。この事業を地域活性化につなげていこうと、農業者以外の参加を募って「ワークショップ」を開催。地域の生態系保全や6次産業化、地域資源の保全などをテーマに意見を交換し、地域の目指す姿が地域一体の共通認識として確立していった。
- ・小学校の総合学習では、「たらい稲づくり」や出前授業、施設見学会などを通して、地域の基幹産業である農業の大切さ、農地や農業用水の管理保全の重要性、水土里ネットの役割など紹介し、教師や児童の父母からも高い評価を得ており、学校から継続的な実施要請を受けている。また、新聞等にも報道され、平成18年度に「21世紀土地改良区創造運動北海道大賞」受賞するなど継続的な実施の励みとなっている。

水土里ネットでは、「地域の財産、『水』『土』『里』を良好な状態で次世代へ引き継ぐ」ことを基本理念に、役職員においては自己確認、自己改革に取り組むとともに、地域住民・地域社会との連携、先駆的な農業振興活動、多様な広報の展開等を柱に、創造運動を展開していくこととしている。地域の協力を得ながら農業水利施設の予防保全・機能強化を図る地域連携型管理体制の更なる強化と地域の期待に応える新たな水土里ネットの役割の発揮に向けて、地域資源の多面的機能の保全、地域活性化に向けた継続的な運動展開を図っていくこととしている。



地域住民とのワークショップ



水利施設の見学